

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年10月28日から2020年10月22日までです。
運用方針	<p>成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、成長国の現地通貨建て国債に投資することもあります。</p> <p>成長国とは、新興国および資源国のことをいい、原則として以下の条件を満たす国を指します。</p> <p>新興国：IMFが新興国と定義する国かつ名目GDPが1,000億米ドル以上の国</p> <p>資源国：鉱物資源、エネルギー資源、食糧資源等を産出する国で、その資源がその国の経済成長に寄与すると考えられる国</p> <p>投資にあたっては、経済動向、金利水準および為替動向等を勘案して投資対象国および投資比率を決定します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。</p> <p>分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>

## 運用報告書（全体版）

### 成長国通貨・ 国際機関債オープン （愛称 世界にエール）

第79期（決算日 2017年5月22日） 第82期（決算日 2017年8月22日）  
第80期（決算日 2017年6月22日） 第83期（決算日 2017年9月22日）  
第81期（決算日 2017年7月24日） 第84期（決算日 2017年10月23日）

#### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「成長国通貨・国際機関債オープン（愛称 世界にエール）」は、2017年10月23日に第84期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第79期～第84期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	込配	期騰落			
	円	円	%	%	%	百万円	
55期(2015年5月22日)	8,275	60	2.8	95.3	—	404	
56期(2015年6月22日)	8,128	60	△1.1	95.4	—	395	
57期(2015年7月22日)	8,046	60	△0.3	95.0	—	389	
58期(2015年8月24日)	7,318	60	△8.3	94.3	—	351	
59期(2015年9月24日)	6,825	60	△5.9	94.0	—	325	
60期(2015年10月22日)	7,112	60	5.1	92.5	—	346	
61期(2015年11月24日)	7,302	60	3.5	92.9	—	354	
62期(2015年12月22日)	6,953	60	△4.0	91.7	—	337	
63期(2016年1月22日)	6,422	60	△6.8	90.6	—	311	
64期(2016年2月22日)	6,338	60	△0.4	91.1	—	307	
65期(2016年3月22日)	6,565	60	4.5	93.0	—	318	
66期(2016年4月22日)	6,520	60	0.2	92.4	—	315	
67期(2016年5月23日)	6,205	40	△4.2	95.4	—	300	
68期(2016年6月22日)	6,044	40	△2.0	94.6	—	271	
69期(2016年7月22日)	6,048	40	0.7	92.9	—	260	
70期(2016年8月22日)	5,906	40	△1.7	92.5	—	252	
71期(2016年9月23日)	5,830	40	△0.6	91.3	—	234	
72期(2016年10月24日)	5,997	40	3.6	90.8	—	231	
73期(2016年11月22日)	5,951	40	△0.1	90.3	—	226	
74期(2016年12月22日)	6,263	40	5.9	90.7	—	238	
75期(2017年1月23日)	6,146	40	△1.2	89.4	—	233	
76期(2017年2月22日)	6,310	40	3.3	89.6	—	239	
77期(2017年3月22日)	6,311	40	0.6	92.1	—	238	
78期(2017年4月24日)	6,190	40	△1.3	91.4	—	232	
79期(2017年5月22日)	6,139	40	△0.2	92.0	—	228	
80期(2017年6月22日)	6,189	40	1.5	93.7	—	230	
81期(2017年7月24日)	6,338	40	3.1	92.6	—	233	
82期(2017年8月22日)	6,208	40	△1.4	91.5	—	211	
83期(2017年9月22日)	6,382	40	3.4	91.9	—	216	
84期(2017年10月23日)	6,264	40	△1.2	90.4	—	208	

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 当ファンドは成長国通貨建て国際機関債を主要な投資対象としており、パフォーマンスを比較するのに適切な指数がありません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

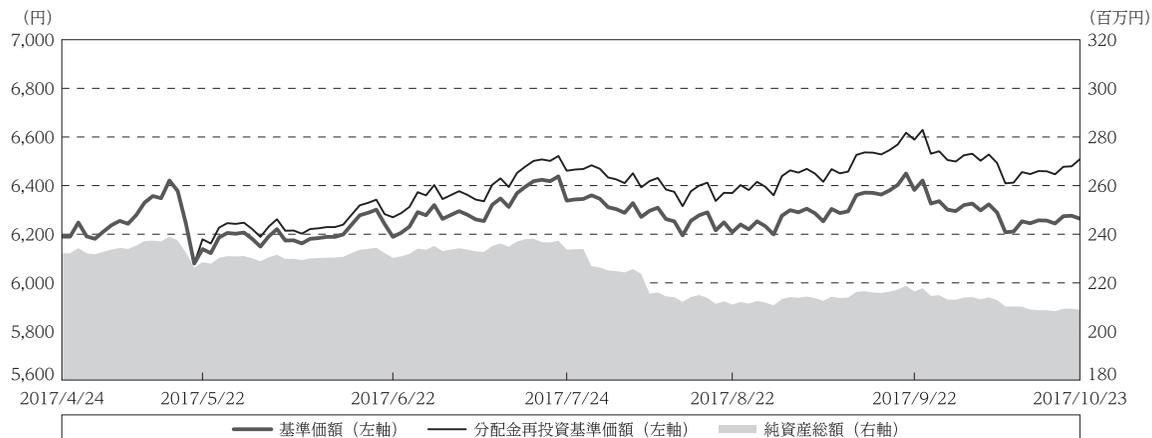
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
第79期	(期 首) 2017年 4月24日	円 6,190		% —		% 91.4		% —
	4月末	6,181		△0.1		91.1		—
	(期 末) 2017年 5月22日	6,179		△0.2		92.0		—
第80期	(期 首) 2017年 5月22日	6,139		—		92.0		—
	5月末	6,149		0.2		92.0		—
	(期 末) 2017年 6月22日	6,229		1.5		93.7		—
第81期	(期 首) 2017年 6月22日	6,189		—		93.7		—
	6月末	6,263		1.2		93.6		—
	(期 末) 2017年 7月24日	6,378		3.1		92.6		—
第82期	(期 首) 2017年 7月24日	6,338		—		92.6		—
	7月末	6,311		△0.4		92.4		—
	(期 末) 2017年 8月22日	6,248		△1.4		91.5		—
第83期	(期 首) 2017年 8月22日	6,208		—		91.5		—
	8月末	6,299		1.5		91.4		—
	(期 末) 2017年 9月22日	6,422		3.4		91.9		—
第84期	(期 首) 2017年 9月22日	6,382		—		91.9		—
	9月末	6,295		△1.4		91.9		—
	(期 末) 2017年10月23日	6,304		△1.2		90.4		—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2017年4月25日～2017年10月23日）



第79期首：6,190円

第84期末：6,264円（既払分配金（税引前）：240円）

騰落率：5.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年4月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入が、プラスに寄与しました。
- ・南アフリカランドを除く投資通貨の対円での上昇が、プラスに寄与しました。
- ・ブラジルリアル建てやインドネシアルピア建て債券などの利回り低下による債券価格の上昇が、プラスに寄与しました。

#### (主なマイナス要因)

- ・南アフリカランドの対円での下落が、マイナスに作用しました。
- ・トルコリラ建て債券などの利回り上昇による債券価格の下落が、マイナスに作用しました。

**投資環境**

(2017年4月25日～2017年10月23日)

投資対象とした成長国通貨建て債券市場は、まちまちな動きとなりました。各国の政治リスクや地政学リスクの高まりを受けて利回りが上昇する場面も見られましたが、投資家の利回り選好の動きを背景に、2017年8月にかけては、概ね利回りが低下しました。ただ、作成期末にかけては、米国の利上げ観測の高まりを背景とする資金流出の懸念などから、利回りが上昇する動きも見られました。こうした中、ブラジルリアル建てやインドネシアルピア建て債券は、複数回の利下げが行われたことなどから、利回りの低下が目立ちました。一方、米国との外交関係悪化が嫌気されたトルコリラ建て債券は、作成期末にかけて、比較的大きく利回りが上昇しました。

為替市場は、概ね投資通貨が対円で上昇しました。世界的な景気回復期待の高まりから商品市況が概ね堅調に推移したことや、市場参加者が高金利通貨志向を強めたことなどを背景に、投資通貨の対円での買いが優勢となりました。ただ、作成期末にかけては、米国債利回りの上昇や各国の政治リスクへの懸念の高まりなどから、メキシコペソやトルコリラなど対円での上昇幅を縮小する通貨も見られました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2017年4月25日～2017年10月23日)

債券組入比率は概ね高位を維持しました。

新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、オーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6カ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債をポートフォリオに組み入れました。通貨配分は、市場環境、各国のファンダメンタルズ、金利水準等を勘案して調整を図りました。当作成期は、メキシコペソやブラジルリアルへの配分を引き下げ、インドネシアルピアへの配分を引き上げました。

外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2017年4月25日～2017年10月23日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## 分配金

(2017年4月25日～2017年10月23日)

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間におきましては、分配可能額を勘案し、毎期1万口当たり40円（税引前）、合計で240円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2017年4月25日～ 2017年5月22日	2017年5月23日～ 2017年6月22日	2017年6月23日～ 2017年7月24日	2017年7月25日～ 2017年8月22日	2017年8月23日～ 2017年9月22日	2017年9月23日～ 2017年10月23日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.647%	40 0.642%	40 0.627%	40 0.640%	40 0.623%	40 0.635%
当期の収益	31	38	40	31	40	34
当期の収益以外	8	1	—	8	—	5
翌期繰越分配対象額	343	342	344	336	336	331

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

投資対象とする成長国通貨建て債券市場は、概ね横這いの展開となることを予想します。主要な中央銀行による金融緩和縮小ペースは緩やかなものに留まるとみられ、利回りを求める投資資金の流入が利回りの低下要因になると見込んでいます。ただ、各国の政治リスクへの懸念が残ることなどから、利回りが上昇する場面もあるとみています。

為替市場は、全般に成長国通貨が対円で方向感なく推移すると予想します。投資家の高金利通貨志向などが成長国通貨の下支えとなると見えています。一方、政治リスクや地政学リスクへの懸念などが、成長国通貨の対円での上値を抑える要因になるとみています。

このような状況下、ファンドの運用においては、新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、当面はオーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6カ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債に分散投資する方針です。ただし、各国の信用リスク、金利水準、ファンダメンタルズ、および通貨や債券の流動性等を勘案し、状況に応じて投資対象国の追加や変更を検討します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年4月25日～2017年10月23日)

項 目	第79期～第84期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(17)	(0.269)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(20)	(0.323)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.040	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.005)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	41	0.659	
作成期間中の平均基準価額は、6,249円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年4月25日～2017年10月23日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 公社債

			第79期～第84期	
			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ —	千メキシコペソ 2,026
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル —	千ブラジルリアル 404
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 398	千トルコリラ — ( 400)
国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 32
	インドネシア	特殊債券	千インドネシアルピア 2,221,550	千インドネシアルピア 710,090
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 384	千南アフリカランド 1,726

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年4月25日～2017年10月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年10月23日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第84期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 5,000	千メキシコペソ 5,038	千円 30,232	% 14.5	% —	% —	% 14.5	% —
ブラジル	千ブラジルレアル 1,200	千ブラジルレアル 1,292	46,087	22.1	—	—	15.2	6.9
トルコ	千トルコリラ 400	千トルコリラ 393	12,148	5.8	—	—	5.8	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 300	千オーストラリアドル 327	29,137	13.9	—	—	13.9	—
インドネシア	千インドネシアルピア 5,400,000	千インドネシアルピア 5,596,956	47,574	22.8	—	—	—	22.8
南アフリカ	千南アフリカランド 3,000	千南アフリカランド 2,846	23,684	11.3	—	11.3	—	—
合 計	—	—	188,864	90.4	—	11.3	49.4	29.7

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	第84期末		償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	特殊債券 (除く金融債) INT BK RECON&DEV 7.5	7.5	5,000	5,038	30,232	2020/3/5
小	計				30,232	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	特殊債券 (除く金融債) INT BK RECON&DEV 11	11.0	400	403	14,403	2018/1/29
	INT BK RECON&DEV 11.75	11.75	800	888	31,684	2020/11/4
小	計				46,087	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
	特殊債券 (除く金融債) INTL FIN CORP 10.75	10.75	400	393	12,148	2020/4/6
小	計				12,148	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	特殊債券 (除く金融債) ASIAN DEV BANK 6.25	6.25	300	327	29,137	2020/3/5
小	計				29,137	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	特殊債券 (除く金融債) EURO BK RECON&DV 7.375	7.375	1,800,000	1,834,956	15,597	2019/4/15
	INTERAMER DEV BK 9.5	9.5	3,600,000	3,762,000	31,977	2019/4/15
小	計				47,574	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	特殊債券 (除く金融債) INT BK RECON&DEV 7	7.0	3,000	2,846	23,684	2023/6/7
小	計				23,684	
合	計				188,864	

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年10月23日現在)

項目	第84期末	
	評価額	比率
公社債	千円 188,864	% 89.7
コール・ローン等、その他	21,707	10.3
投資信託財産総額	210,571	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 作成期間末における外貨建純資産（204,962千円）の投資信託財産総額（210,571千円）に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=6.00円、1ブラジルレアル=35.66円、1トルコリラ=30.90円、1オーストラリアドル=88.98円、1インドネシアルピア=0.0085円、1南アフリカランド=8.32円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末
	2017年5月22日現在	2017年6月22日現在	2017年7月24日現在	2017年8月22日現在	2017年9月22日現在	2017年10月23日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	230,222,329	232,026,284	235,386,961	212,623,574	218,045,722	217,122,895
コール・ローン等	13,220,284	10,897,682	11,971,197	11,779,237	10,537,828	5,503,053
公社債(評価額)	210,202,626	215,827,226	216,331,869	193,159,429	199,002,106	188,864,919
未収入金	—	—	—	—	—	12,942,032
未収利息	4,218,675	5,012,189	6,778,068	7,365,357	8,163,764	9,460,330
前払費用	2,345,201	256,184	255,914	252,121	259,876	255,034
その他未収収益	235,543	33,003	49,913	67,430	82,148	97,527
(B) 負債	1,713,853	1,734,624	1,732,806	1,579,247	1,585,074	8,152,751
未払金	—	—	—	—	—	6,551,454
未払収益分配金	1,488,927	1,488,384	1,474,596	1,359,773	1,356,782	1,334,487
未払解約金	—	—	—	—	—	40,626
未払信託報酬	222,483	243,631	255,470	217,160	225,884	223,795
未払利息	17	19	18	21	19	7
その他未払費用	2,426	2,590	2,722	2,293	2,389	2,382
(C) 純資産総額(A-B)	228,508,476	230,291,660	233,654,155	211,044,327	216,460,648	208,970,144
元本	372,231,886	372,096,172	368,649,237	339,943,441	339,195,578	333,621,999
次期繰越損益金	△143,723,410	△141,804,512	△134,995,082	△128,899,114	△122,734,930	△124,651,855
(D) 受益権総口数	372,231,886口	372,096,172口	368,649,237口	339,943,441口	339,195,578口	333,621,999口
1万円当たり基準価額(C/D)	6,139円	6,189円	6,338円	6,208円	6,382円	6,264円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第79期143,723,410円、第80期141,804,512円、第81期134,995,082円、第82期128,899,114円、第83期122,734,930円、第84期124,651,855円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第79期0.6139円、第80期0.6189円、第81期0.6338円、第82期0.6208円、第83期0.6382円、第84期0.6264円です。

(注) 当ファンドの第79期首元本額は375,008,706円、第79～84期中追加設定元本額は689,457円、第79～84期中一部解約元本額は42,076,164円です。

## ○損益の状況

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2017年4月25日～ 2017年5月22日	2017年5月23日～ 2017年6月22日	2017年6月23日～ 2017年7月24日	2017年7月25日～ 2017年8月22日	2017年8月23日～ 2017年9月22日	2017年9月23日～ 2017年10月23日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,386,068	1,530,259	1,616,823	1,324,936	1,416,389	1,399,616
受取利息	1,372,534	1,515,876	1,608,528	1,321,367	1,404,146	1,394,242
その他収益金	14,004	14,965	8,626	3,881	12,774	5,541
支払利息	△ 470	△ 582	△ 331	△ 312	△ 531	△ 167
(B) 有価証券売買損益	△ 1,580,571	2,077,466	5,628,877	△ 4,142,134	6,051,994	△ 3,756,190
売買益	1,258,077	3,803,446	6,197,876	359,797	6,276,806	99,902
売買損	△ 2,838,648	△ 1,725,980	△ 568,999	△ 4,501,931	△ 224,812	△ 3,856,092
(C) 信託報酬等	△ 226,655	△ 253,092	△ 276,797	△ 249,061	△ 231,738	△ 239,877
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 421,158	3,354,633	6,968,903	△ 3,066,259	7,236,645	△ 2,596,451
(E) 前期繰越損益金	△138,878,784	△140,730,282	△137,557,586	△121,754,813	△125,883,865	△117,849,281
(F) 追加信託差損益金	△ 2,934,541	△ 2,940,479	△ 2,931,803	△ 2,718,269	△ 2,730,928	△ 2,871,636
(配当等相当額)	( 11,829,255)	( 11,825,042)	( 11,715,811)	( 10,803,713)	( 10,780,170)	( 10,604,553)
(売買損益相当額)	(△ 14,763,796)	(△ 14,765,521)	(△ 14,647,614)	(△ 13,521,982)	(△ 13,511,098)	(△ 13,476,189)
(G) 計(D+E+F)	△142,234,483	△140,316,128	△133,520,486	△127,539,341	△121,378,148	△123,317,368
(H) 収益分配金	△ 1,488,927	△ 1,488,384	△ 1,474,596	△ 1,359,773	△ 1,356,782	△ 1,334,487
次期繰越損益金(G+H)	△143,723,410	△141,804,512	△134,995,082	△128,899,114	△122,734,930	△124,651,855
追加信託差損益金	△ 2,934,541	△ 2,940,479	△ 2,931,803	△ 2,718,269	△ 2,730,928	△ 2,871,636
(配当等相当額)	( 11,829,255)	( 11,825,042)	( 11,715,811)	( 10,803,713)	( 10,780,170)	( 10,604,553)
(売買損益相当額)	(△ 14,763,796)	(△ 14,765,521)	(△ 14,647,614)	(△ 13,521,982)	(△ 13,511,098)	(△ 13,476,189)
分配準備積立金	969,568	903,696	975,864	626,545	640,764	456,210
繰越損益金	△141,758,437	△139,767,729	△133,039,143	△126,807,390	△120,644,766	△122,236,429

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,159,413円	1,422,897円	1,555,070円	1,075,875円	1,372,428円	1,159,739円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	11,829,255円	11,825,042円	11,715,811円	10,803,713円	10,780,170円	10,604,553円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	1,299,082円	969,183円	895,390円	910,443円	625,118円	630,958円
分配対象収益(a+b+c+d)	14,287,750円	14,217,122円	14,166,271円	12,790,031円	12,777,716円	12,395,250円
分配対象収益(1万円当たり)	383円	382円	384円	376円	376円	371円
分配金額	1,488,927円	1,488,384円	1,474,596円	1,359,773円	1,356,782円	1,334,487円
分配金額(1万円当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
1 万口当たり分配金（税引前）	40円	40円	40円	40円	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店					

### <お知らせ>

該当事項はございません。